

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜県立可児工業高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和3年12月3日(金) 10時00分～12時30分
- 3 開催場所 本校
- 4 参加者

会長	大杉 守平	可児市中恵土自治連合会長
副会長	松岡 勝哉	PTA役員
委員	牛江 明美	可児市立図書館長 (ご欠席)
	渡辺 恒代	元PTA役員
	今井 真実	元PTA役員
	各務 眞弓	可児市多文化共生センター事務局長
	藤田 幸夫	同窓会長 (ご欠席)
学校側	中西 竜也	校長
	鎌田 知子	事務長
	加藤 昌宏	教頭
	水野 貴仁	機械科主任
	小川 英幸	電気システム科主任
	平野 隆英	化学技術科主任
	宮田 忠夫	建設工学科主任

5 会議の概要

(1) 授業見学

機械科、建設工学科、化学工学科、電気システム科の「課題研究」を見学

(2) 第1回目の学校運営協議会の書面決裁内容報告

(3) スクール・ポリシーの策定について

意見1：3つの方針のスクール・ポリシーにより、期待する生徒像がより明確に示された。入学から卒業まで一貫とした教育活動に期待する。

また、地域社会の一員として、インターンシップなどの受け入れを積極的に行い、生徒がこの体験を基に社会へ向かう意欲に繋がるよう支援を行いたい。

意見2：卒業後は、社会人として責任を持って生活してほしいが、最近はパソコンやスマートフォンの影響なのか仕事への忍耐や先輩、同僚とのコミュニケーションがうまく取れない若い社員が増えている。目の前のトラブルと正面から向き合えず、ストレスとなる人が増えているので、メンタル教育も必要である。

- 意見3：「ICT機器を活用する」とあるが、どのように活用するのか具体的に記述することで、学校の魅力を発信するキャッチコピーに繋げてほしい。
- 意見4：「基本的な生活習慣」の意味を理解していない生徒も多数いるのではないかと。
⇒ 生活習慣病は、運動、食事、睡眠の大切さと、たばこ、飲酒の危険性など日々の生活の心掛けで予防できることを生徒に伝えていきたい。
- 意見5：他者（ジェンダーや外国人も含めて）や多様性を尊重できる言葉も必要である。
- 意見6：どの目線に合わせるのか。中学生向けであれば言葉の柔らかさが大切である。
- 意見7：「学校生活が楽しそう」と伝えることができる表現をしてはどうか。
- 意見8：人間性の教育も取り入れながら、この地域唯一の工業高校であることも前面に出してはどうか。

(4) 地域や中学生の保護者に向けたPR活動について

- 意見1：高校卒業後の進路先も大切だが、中学生へは「楽しい高校生活」をアピールした方がよい。本校を卒業した我が子は、「楽しいのは（工業高校ではなく）農林高校だよ」と言っているのがとても残念である。
- 意見2：例えば農林高校の生徒は、「3年間楽しかった」と言って卒業していく。工業高校も、ものづくりや部活動に熱心に取り組んだ楽しさをアピールしてはどうか。
- 意見3：仕事柄、外国人の子どもをサポートしている。現行の高校入試は、日本語が苦手な外国の生徒にとって、やりたいことを目指した学科を選ぶことができず、入学できる学科を選ばざるを得ない。第2希望の学科に合格したら、行きたい高校であっても、やりたいことではない学科に進むことになる。
⇒ 入学定員があるため、希望と異なることもある。第1希望のみを選択することも可能な制度になっているが、不合格を避けたい生徒の気持ちも理解できる。
- 意見4：ホッケーやラグビーなど特色のある部活動をもっとアピールしてはどうか。
⇒ 夏のオープンキャンパス、秋の一日体験入学、冬の可児工高デパートメントなどこれからも学校PRの機会を模索していく。
- 意見5：年度当初のPTA役員会で、女子トイレの数が、女子生徒数の増加に追従できていないと指摘したところ、女子トイレ増設が行われたことに感謝している。学習環境を整えることも学校の魅力に繋がっている。
⇒ 女子生徒の増加に伴い、女子トイレの増設と改修の計画が進んでいたため、早期に環境を整えることができた。
- 意見6：多目的トイレはあるか。
⇒ 男子トイレ、女子トイレ内に、車椅子が利用できるトイレはあるが、多目的トイレは設置していない。最近の校舎建替えでは、多目的トイレを設置している。本校の校舎も約60年経過し、近い将来の建替えでは、多目的トイレの設置や、バリアフリーを取り入れた計画としたい。
- 意見7：女子生徒の制服は、スカートのみか。
⇒ 男女とも、ズボン・スカートの2種類から選択できる。
- 意見8：中学3年生の時、私立高校の見学会で、「勉強が好きでない生徒でも、最後までしっかり面倒を見ます。」との説明を受け安心できた。
⇒ 県立学校でも「学び直し」を大切にしており、少人数に分割したり、複数教員を配置するチームティーチングを当たり前のように実施したりしている。このような取組もアピールしていきたい。
- 意見9：県立学校では、生徒1人1台のタブレットが貸与されていることに感謝している。早い段階からパソコンが使用できる教育は、将来性が期待できる。ただ、見学した部屋にあったパソコンなども時代に合わせて更新してほしい。

⇒ 貸与しているタブレットでできる基本的な内容と、高性能なパソコンでないとできないクリエイティブな内容を精選して、真に必要なICT機器を整備していきたい。

意見10：「本校は良かったよ。」と卒業していく生徒が増えることが大切である。

6 会議のまとめ

第2回学校運営協議会におけるスクール・ポリシーの表現等に関する具体的な意見をふまえ、今後表現等を検討する。今後の本校教育活動に対して様々な視点からアドバイスが得られた。意見を真摯に受け止め、さらに魅力ある学校運営に励みたい。